

お得意様各位

平成22年1月5日

株式会社 タテムラ
システムサービス課
福生市牛浜104

System-V/LX 地方税申告書プログラム-第6号様式別表14の送付について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のお取引を賜り誠にありがとうございます。

所得税確定申告書システム更新に伴い、[97]GP年度更新プログラムも対応致しましたので更新プログラムを送付致します。

今回のプログラム更新に併せてマルチウィンドウ端末のバージョンアップもご致します。

また、[100]法人税申告書プログラムをご利用のお客様につきましては、今回の転送作業を行うことにより地方税第6号様式別表14が追加となります。(地方税第6号様式別表14につきまして、新法人税申告書でのご提供を予定しておりましたが開発が遅れております。そこで、現在ご使用の法人税申告書プログラムでのご提供となりました。)

尚、第6号様式別表14で計算した結果を第6号様式56、57に記載しますが、プログラムではデータの転記はしていません。第6号様式(3601~3610)の56、57欄の金額は手入力していただく必要がございますのでご注意ください。第6号様式別表14は、3枚複写(国税庁官報発表)の様式にて作成しております。印刷時に不要な頁を印刷したくない場合の方法につきまして、P.11にご説明しておりますのでご参照下さい。

更に[880]電子申告システムをご利用のお客様は国税環境設定も更新しておりますので、更新作業行っていただきますようお願い致します。(1月にe-Taxソフトがバージョンアップされる予定です。実際に電子申請を行う直前にe-Taxを必ず一度開いて下さい。最新になっていない場合は更新を行って下さい。)

つきましては同封の資料をご覧頂いてからご使用いただきますようお願い申し上げます。

今後とも倍旧のお引き立ての程、宜しくようお願い申し上げます。

敬具

送付資料目次

送付プログラム

- ・ [97]GP年度更新プログラム CD-R 1枚
- ・ [100]法人税申告書プログラム
- ・ マルチウィンドウ端末 V-5.01/国税電子申告用環境設定

※サーバーが複数台ある場合でも共通で使用できます。

※マルチウィンドウ端末は各端末ごとに更新作業をお願いします。

案内資料

- ・ 同封物の解説及びバージョン一覧表 1
- ・ [1000]プログラムの更新作業 2~3
- ・ 環境設定インストール方法 ~XP 4~5
- ・ 環境設定インストール方法 ~Vista 6~8
- ・ [97]GP年度更新プログラム 更新について 9~10
- ・ 地方税申告書 第6号様式別表14について 11
- ・ [880]国税電子申告システムをご利用のお客様へのご注意 12~18
- ・ セキュリティゼロの注意点 19~20

※メール登録のお願い※

弊社ではメールにて送付情報等を配信しております。まだ登録がお済みでないお客様は事務所名とメールアドレスを本文に書いてss@tatemura.co.jpへ送信していただくか、サービス課までご連絡下さい。

送付内容のお問い合わせ先

送付内容に関するお問い合わせにつきましては、サービス課までご連絡下さいますようお願いいたします。尚、保守にご加入のお客様はフリーダイヤルをご利用下さい。

TEL 042-553-5311 (AM10:00~12:00 PM1:00~3:30)
FAX 042-553-9901

以上

System-VまたはLXのCD-Rの中に、以下の内容を同封しています。



今回送付した更新版CD-Rには

- ・ [97] GP年度更新プログラム
- ・ [100]地方税申告書プログラム
- ・ マルチウィンドウ端末 V5.01
- ・ 電子申告用国税環境設定

が入っています。

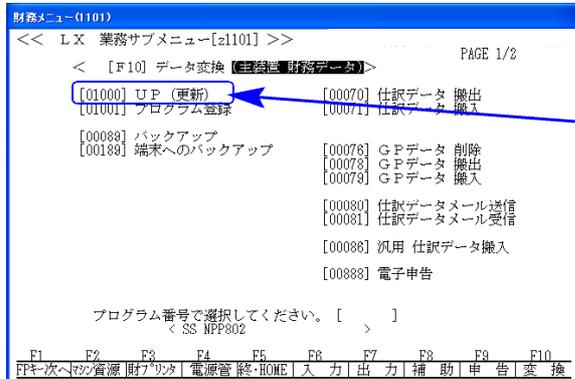
No.	ラベル名	枚数	備考
1	System-V/LX [97] GP年度更新 [100]法人税申告書 マルチウィンドウ端末V5.01 国税環境設定	1	プログラムインストールCD-Rです。

● バージョンNO.一覧

PG番号	プログラム名	HD-VER	備考
97	GP年度更新	V-1.02	確定申告書の年度更新を、平成20年から21年へ対応するための更新を行いました。 ※年度更新で、寄附金控除の金額や、所得の内訳書の必要経費の金額が残っていた点などを改善しました。
100	法人税申告書	V-1.63	地方税申告書 第6号様式別表14 [1401]～[1410]を作成しました。 第6号様式と第6号様式別表14は対でご使用下さい。 例) 第6号様式の入力が[3601]で、第6号様式別表14を入力する場合 → [1401]で入力します。

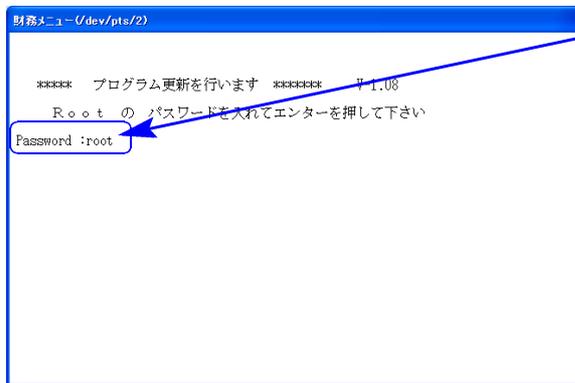
● 操作方法

- ① 「[97] GP年度更新 ~10.01.05」と書かれているCD-Rを用意します。
- ② **F10** データ変換のメニューを呼び出します。



初期メニューより **F10** データ変換を選択します。**[1000] UP (更新)**を呼び出します。

1000 **Enter** を押します。



Enter を押します。

(rootは入力しません)

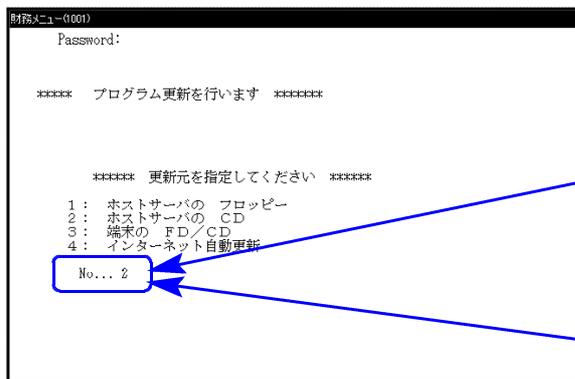
r o o t は消さないように注意して下さい。

※パスワードを消した場合エラーを表示します。



※ System-V/LX:単体で使用している場合
 LX:2005年8月以降納品の機械(LX-TURB010) は、端末CDで作業して下さい。

- ③ 下図の画面を表示します。

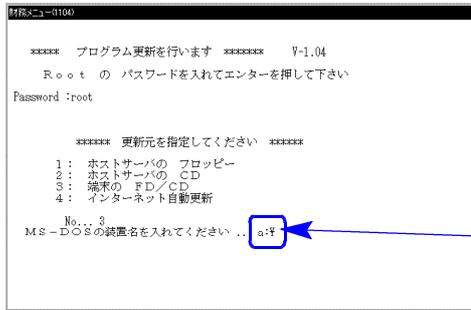


親機に「[97] GP年度更新 ~10.01.05」と書いてあるCD-Rをセットして、『2』ホストサーバのCDを選択します。

2 **Enter** と押します。

※単体で使用、又はホストマシン(親機)にCD-ROMドライブがない場合は、端末機にCD-Rをセットして**3** **Enter** を押します。

《 3: 端末のFD/CDを指定した場合 》

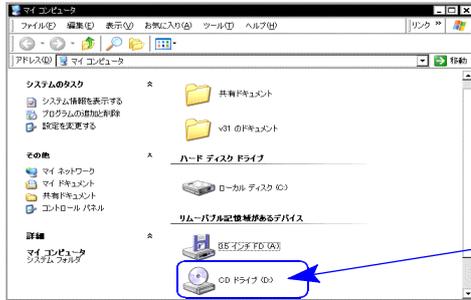


3: 端末のFD/CDを選択すると『MS-DOSの装置名を入れてください..a:¥』と表示されますので、CD-ROMのドライブ名を入力します。

Dドライブの場合『d』と入力します。『d:¥』と表示されたら、Enterを押します ※お客様の機械によってドライブ名は異なります。下記の方法で確認して下さい。

CD-ROMのドライブ名の確認方法

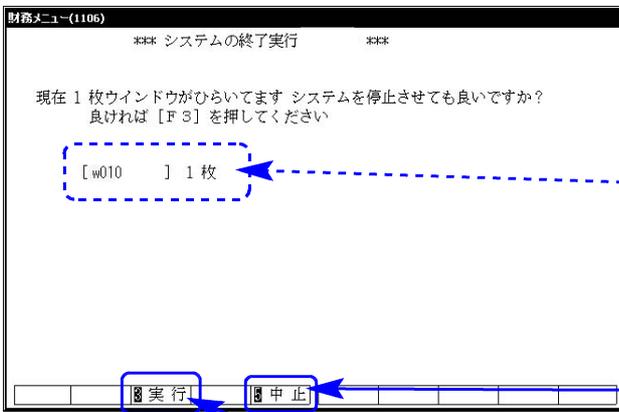
マイコンピュータを開きます。CD-ROMのドライブを確認して下さい。



左図の場合はCD-ROMドライブは『D』です。



- ④ インストールを実行します。
左図の1行目の画面を表示します。『OOOをインストールします[y/n/a/1?...]』
a 又は **1** を選択します。
※誤って、**y** を選択した場合は2行目以降で **a** 又は **1** を選択して下さい。



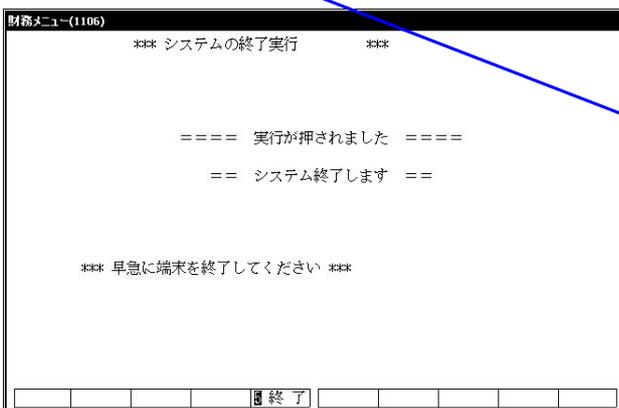
- ⑤ 2行目以降を表示します。
終了が出た後しばらくお待ち下さい。
- ⑥ インストールが終了すると左図の画面を表示します。
CD-Rを本体から取り出してください。
他の端末が起動していないことを確認します。
※ここに複数表示する場合は他の端末が動作中です。一旦終了して下さい。
1台のみの場合は現在作業している機械です。

単体の場合

終了(F5)を何回か押してシステムを終了し、Windows画面、もしくはポータル画面まで戻ります。電源が切れたあと3分ほど待ち、再度システムを起動して下さい。

ネットワークの場合

実行(F3)を押し、しばらくお待ち下さい。左図の画面を表示した後、しばらくすると自動的にマルチ端末が終了、その後親機の電源も自動的に切れて再起動します。(※親機の電源が切れたあと5分ほど待っても再起動しない場合は、電源ボタンを押して起動させて下さい。)



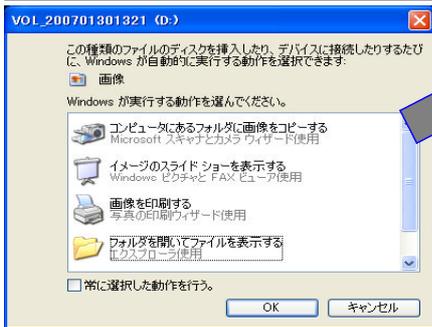
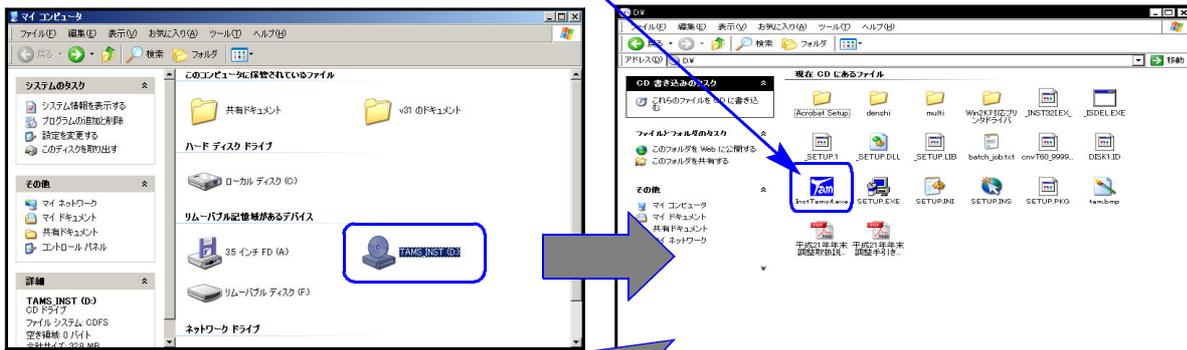
※親機を複数台持っている場合は、本CD-Rにて更新作業を同様に行ってください。

転送前の確認事項

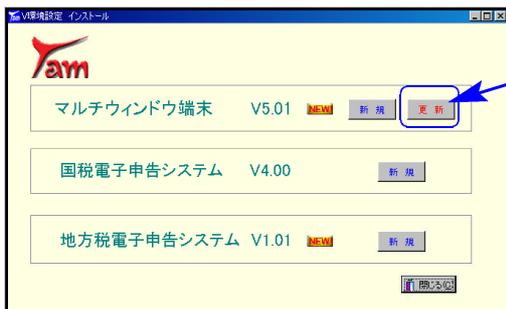
- インストールを行う際は、全てのプログラムを終了して下さい。（マルチウィンドウ端末も閉じて下さい。）終了せずインストールを行うとプログラムが正常に動作しません。

インストールは下記に沿って各端末機で行って下さい。

1. 今回送付した「[97]GP年度更新 ~10.01.05」と書いてあるCD-Rを用意し、端末機にセットします。
2. マイコンピュータをダブルクリック→CD-ROMドライブをダブルクリックします。CD-Rの内容を表示しますので『InstTams4.exe』をダブルクリックします。

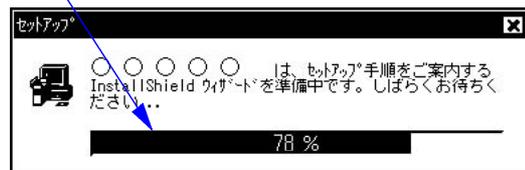


※CD-Rをセット後、左図を表示した場合は『フォルダを開いてファイルを表示する』を選択します。OKにマウスの矢印を合わせて左ボタンを1回押すと右上の画面を表示します。

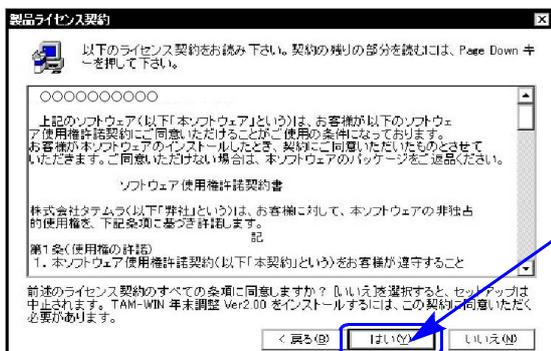


3. マルチウィンドウ端末の『更新』にマウスの矢印を合わせて左ボタンを1回押します。

4. しばらくすると下図の画面を表示します。「100%」になるまでお待ち下さい。

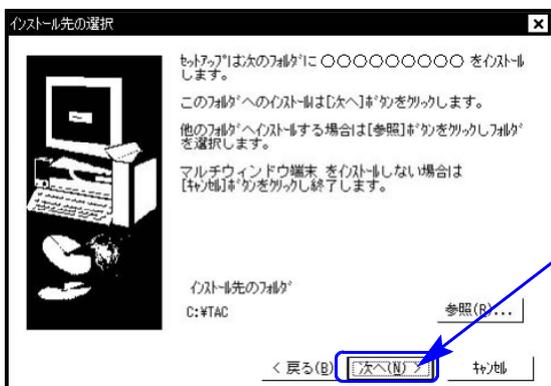


5. 左図の画面を表示します。マウスの矢印を「次へ」に合わせて左ボタンを1回押します。（クリック）



6. 左図の画面を表示します。

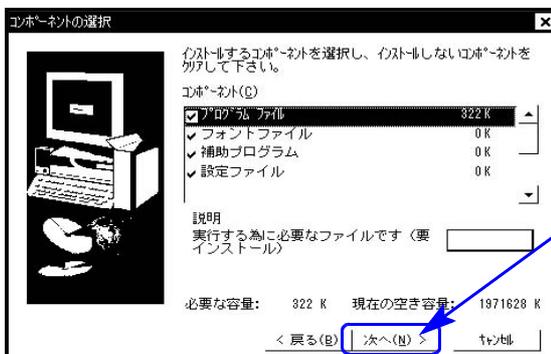
マウスの矢印を「はい」に合わせて
左ボタンを1回押します。(クリック)



7. 左図の画面を表示します。

マウスの矢印を「次へ」に合わせて
左ボタンを1回押します。(クリック)

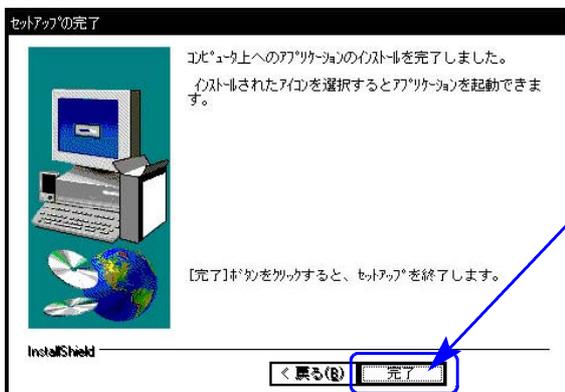
しばらくお待ち下さい。



8. 左図の画面を表示します。

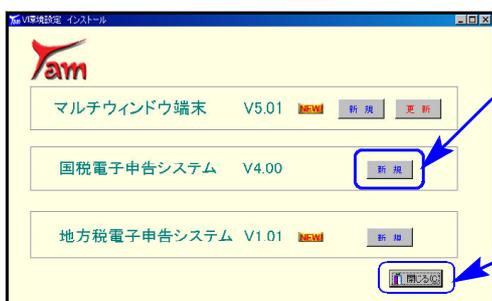
マウスの矢印を「次へ」に合わせて
左ボタンを1回押します。(クリック)

しばらくお待ち下さい。



9. 「セットアップ完了」と表示したら
マウスの矢印を「完了」に合わせて
左ボタンを1回押します。(クリック)

10. 左下図の画面に戻ります。
続いて、国税電子申告システム『新規』にマウスの
矢印を合わせて左ボタンを1回押します。
4～9と同じ作業を行います。



11. 国税更新終了後、左図の画面に戻ります。

マウスの矢印を「閉じる」に合わせて
左ボタンを1回押します。

12. CD-Rを取り出し、Windowsを再起動して
下さい。

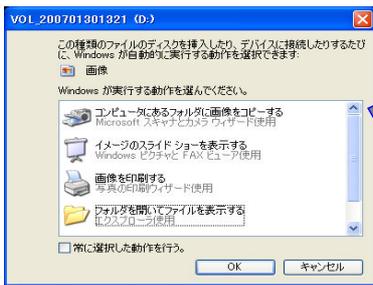
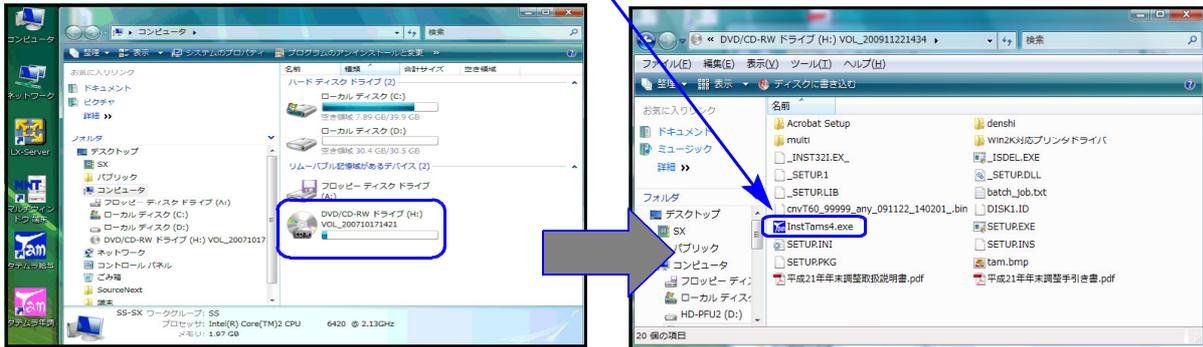
以上でインストール作業は終了です。

転送前の確認事項

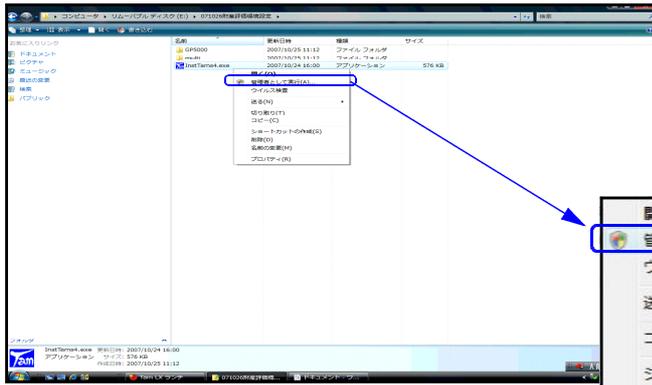
- インストールを行う際は、全てのプログラムを終了して下さい。（マルチウィンドウ端末も閉じて下さい。）終了せずにインストールを行うとプログラムが正常に動作しません。

インストールは下記に沿って各端末機で行って下さい。

1. 今回送付した「[97] G P年度更新 ～10.01.05」と書いてあるCD-Rを用意し、端末機にセットします。
2. マイコンピュータをダブルクリック→CD-ROMドライブをダブルクリックします。CD-Rの内容を表示しますので『InstTams4.exe』を右クリックします。



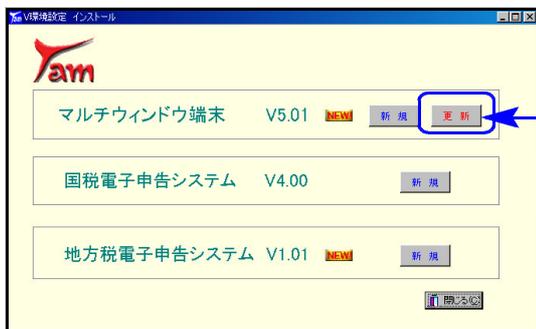
※CD-Rをセット後、左図を表示した場合は『フォルダ』を開いてファイルを表示する』を選択します。
 OK にマウスの矢印を合わせて左ボタンを1回押すと右上の画面を表示します。



3. 左図の画面より『管理者として実行』にマウスの矢印を合わせて左ボタンを1回押します。（クリック）

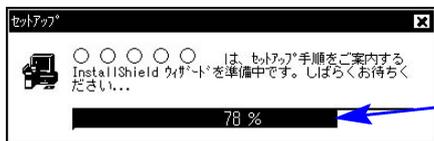


4. 左図の画面を表示しますので、「許可」にマウスの矢印を合わせて左ボタンを1回押します。（クリック）

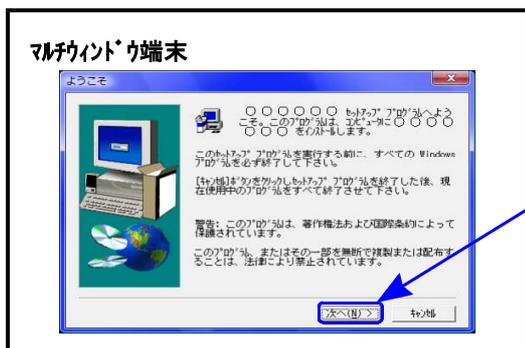


5. 左図の画面を表示します。
マルチウィンドウ端末の『更新』にマウスの矢印を合わせて左ボタンを1回押します。

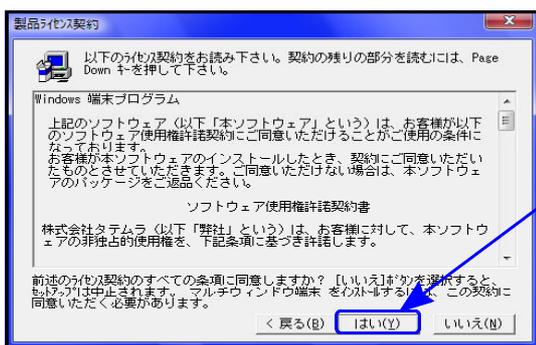
次の画面が出るまでしばらくお待ち下さい。



6. 左図の画面を表示します。
「100%」になるまでお待ち下さい。



7. 左図の画面を表示します。
マウスの矢印を「次へ」に合わせ左ボタンを1回押します。(クリック)



8. 左図の画面を表示します。
マウスの矢印を「はい」に合わせ左ボタンを1回押します。(クリック)



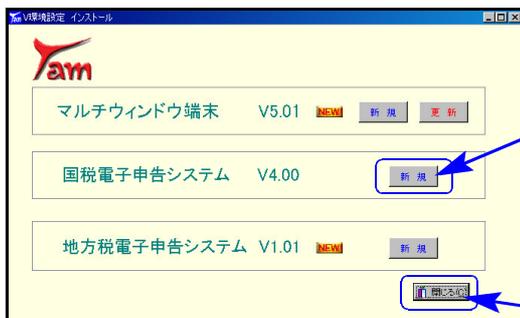
9. 左図の画面を表示します。
マウスの矢印を「次へ」に合わせ左ボタンを1回押します。(クリック)
しばらくお待ち下さい。



10. 左図の画面を表示します。
マウスの矢印を「次へ」に合わせ左ボタンを1回押します。(クリック)
しばらくお待ち下さい。



11. 「セットアップ完了」と表示したらマウスの矢印を「完了」に合わせて左ボタンを1回押します。(クリック)



12. 左図の画面に戻ります。

続いて、国税電子申告システム『新規』にマウスの矢印を合わせて左ボタンを1回押します。6～11と同じ作業を行います。

13. 国税更新終了後、左図の画面に戻ります。

マウスの矢印を「閉じる」に合わせて左ボタンを1回押します。

14. CD-Rを取り出し、Windowsを再起動して下さい。

以上でインストール作業は終了です。



※インストール終了後に左図の画面を表示した場合は「このプログラムは正しくインストールされました」にマウスの矢印を合わせ、左ボタンを1回押します。(クリック)

- ・確定申告書の年度更新を、平成20年度→21年度へ対応するための更新を行いました。
- ・今回のプログラム更新前に、既に確定申告書の年度更新をしている場合は以下のデータが残っておりますので、お手数ですが入力時にデータのご確認をお願い致します。

寄附金控除額 A・B様式各第1表-サブミット内

行 No.	寄附金の所在地・名称 <small>※電子申告を行う場合は住所を 住所、行目とも名義として入力</small>	寄附金	住民税 寄附金控除額		寄附金合計額
			都道府県 市区町村分	共同基金 日赤支部分	
1					総所得合計の40% 棒字のとき0円
2					いずれか少ない額
3					控除額 (上級の額-5,000円) 棒字のとき0円
計					

A様式 12: 住民税に関する事項

住民税に関する事項	
給与所得以外の住民税の徴収方法の選択	<input type="radio"/> 給与から差引き (特別徴収) <input type="radio"/> 自分で納付 (普通徴収)
別居の控除対象配偶者扶養親族の氏名・住所	氏名: _____ 住所: _____
配当に関する住民税の特例	円 _____
非居住者の特例	
配当割額控除の特例	
寄附金控除	都道府県 市区町村分 共同基金 日赤支部分 条例指定分 都道府県 市区町村

B様式 24: 第2表所得の控除

住民税・事業税に関する事項	
給与所得以外の住民税の徴収方法の選択	<input checked="" type="radio"/> 給与から差引き (特別徴収) <input type="radio"/> 自分で納付 (普通徴収)
別居の控除対象配偶者扶養親族	氏名: _____ 住所: _____
所得税で控除対象配偶者などとした専従者	氏名: _____ 給与: _____ 円
配当に関する住民税の特例	円 _____
非居住者の特例	
配当割額控除の特例	
寄附金控除	都道府県 市区町村分 共同基金 日赤支部分 条例指定分 都道府県 市区町村
非課税所得など	番号 _____ 所得金額 _____ 円
損益計算の特例適用前の不動産所得	円 _____
不動産所得から差引いた青色特別控除額	
事業用資産の譲渡損失など	
前年中の間(隔)業	<input type="radio"/> 開始 <input type="radio"/> 廃止 月 日 <input type="checkbox"/> 他都道府県の事務所等

住宅借入金等特別控除の特定増改築等費用額

A・B様式各第1表-サブミット内

居住開始年月日	平成 年 月 日	住宅借入金等の年末残高の合計額	特定増改築等費用額
平成21年中		(額: 20万円)	
平成20年中		(額: 20万円)	
平成19年中		(額: 25万円)	
1 平成18年中		(額: 30万円)	
平成17年中		(額: 40万円)	
平成13年7月1日～平成16年12月31日の間		(額: 50万円)	
平成11年1月1日～平成13年6月30日の間		(額: 37万円5千円)	
2 <input type="radio"/> 住宅借入金等特別控除の特例	平成20年中	(額: 12万円)	
	平成19年中	(額: 15万円)	
3 <input type="radio"/> 認定長期優良住宅の新築等	H21.6.4～21.12.31	(額: 60万円)	
4 <input type="radio"/> 高齢者等居住改修工事等	H19.4.1～21.12.31	(額: 12万円)	特定増改築等費用額
5 <input type="radio"/> 断熱改修工事等	H20.4.1～21.12.31	(額: 17万円)	
6 <input type="radio"/> 震災被害者	1000万円以下 H18.1.1～18.12.31		
	1000万円超2000万円以下		
	2000万円超	(額: 35万円)	

事業所得の収入金額・源泉徴収税額

21: B様式 第1表-事業所得サブミット内

業種	収入金額	必要経費	青色特別控除額	所得金額	源泉徴収税額
農業	(4)			(13)	
不動産	(2)			(3)	

農業および不動産の
 ・ (源泉徴収税額対応) 収入金額
 ・ 源泉徴収税額

地方税申告書の第6号様式別表14を、[100]法人税申告書プログラムの3頁目『1401～1410』に追加致しました。

第6号様式[33～38・43・44]のデータが、第6号様式別表14の[1～8]へ連動しています。
第6号様式別表14の入力を行う際は3601、第6号様式と対でご利用下さい。

例) 第6号様式を[3601]で入力し、第6号様式別表14を使用する場合 → [1401]で入力します。

※第6号様式別表14で計算した結果を第6号様式56・57に記載しますが、プログラムではデータの転記はしておりません。
お手数ですが、第6号様式(3601～3610)の地方法人特別税56・57欄の金額は手入力して下さい。
新法人税システムではデータ連動する予定です。(標準税率・超過税率の指定や第6号様式別表14の使用有無の選択も可能になります。)

【印刷について】

印刷は提出用・入力用・控用の3枚が1セットになっています。
プリント不要な表がある場合は、以下の方法で指定して下さい。

印刷指定で「単枚」を指定します。

↓
『エンターキーで印字開始します。』の対話を表示します。

- ・印刷する場合 …… **Enter** キーを押します。
- ・印刷しない場合… キーボードの **P** キーを押します。

↓
『エンターキーで印字開始します。(2頁)』
『エンターキーで印字開始します。(3頁)』

の対話時も同様に指定して下さい。

電子申告システムをご利用いただきまして誠にありがとうございます。
現在、国税電子申告を行う際には、以下についてご注意いただきますようお願い致します。

● 修正申告を行う場合

今まで過去年度のプログラムを呼び出す場合 [880] [*] をご利用いただいておりますが以下の方法に変更になりました。

[880] [Enter] でプログラムを呼び出します。

【法人変換の場合】

[882] [Enter] を押すと、申告年の指定ができます。

※指定した年における法人税申告書プログラムの連動計算がかかります。
データ入力時の法人税申告書プログラムと、同じ年を指定してください。
指定が異なった場合、申告金額が変わってしまいますのでご注意願います。

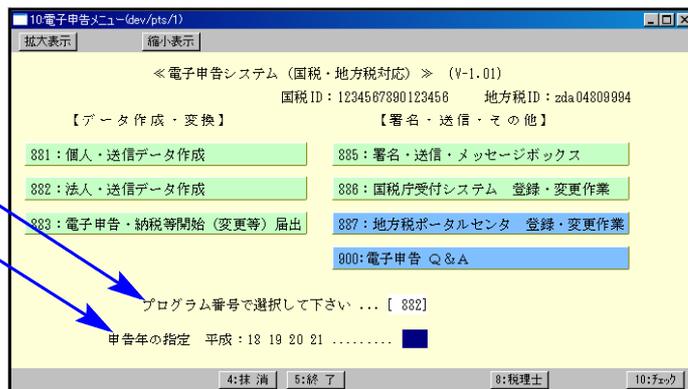
【個人変換の場合】

[881] [Enter] を押し、平成20年を指定します。

※個人変換で現在ご利用いただけるのは平成20年のみです。
平成21年分につきましては現在開発中です。

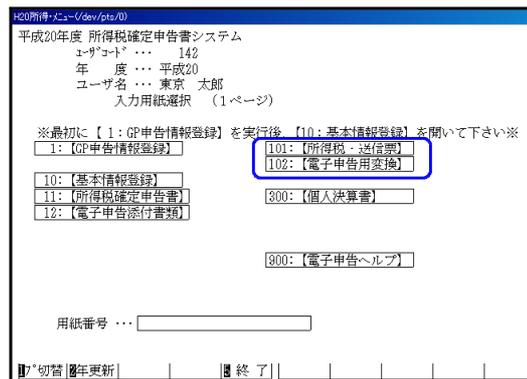
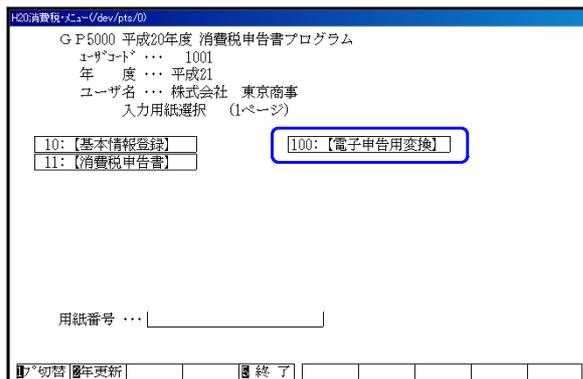
[881] または [882] [Enter] を押し、年の指定をします。

※マウスクリックの場合は最新年で起動。
(年指定の対話は表示しません。)



● 電子申告変換等の作業につきましては[880]電子申告システムをご利用下さい

各申告書プログラムからの電子申告用変換呼び出しは、現在ご利用いただけません。
[120] 消費税申告書、[330] 所得税確定申告システムからの呼び出しにつきましては、平成21年度所得税確定申告システム更新時にご利用いただけるようになります。



国税庁電子申告モジュールが変わったことにより、Microsoft社の「MSXML4.0 Service Pack2」が必要であることが分かりました。インストールされていない場合、モジュールエラー等が発生して作業が行えませんので、以下の手順に沿ってご確認くださいませますようお願いいたします。
(既にインストールされていることをご確認済みの場合は問題ありません。)

● Windows XP 確認方法

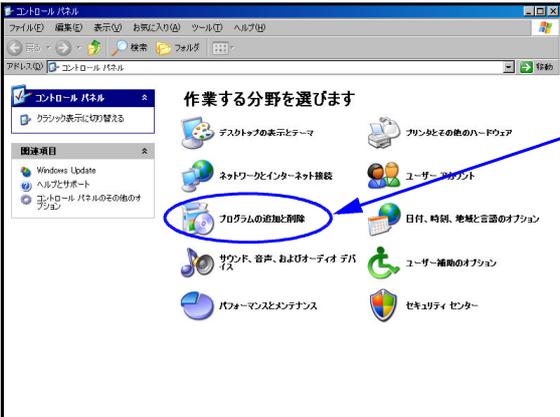
(※Windows Vistaの場合はP.16~をご覧ください。)



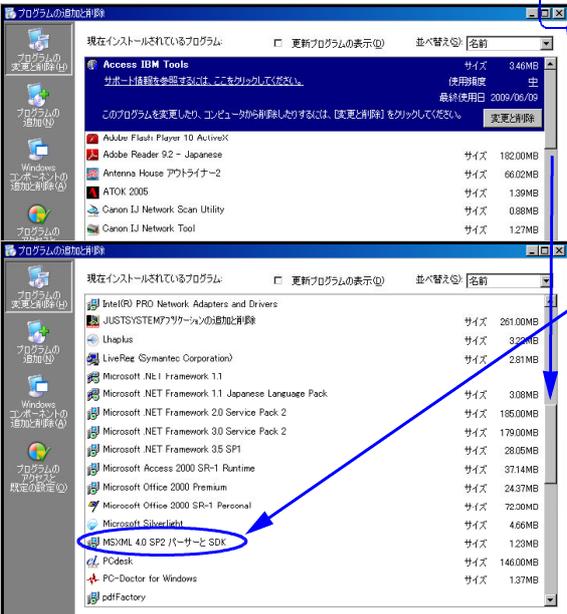
1) スタートをクリックします。



2) コントロールパネルに合わせてクリックします。



3) 左図の画面から「プログラムの追加と削除」をダブルクリックします。



4) インストールされているプログラム一覧が表示されます。

スクロールバーを下へクリックして「MSXML 4.0 SP2」が表示されている場合は問題ありません。

もし、表示されていない場合は次ページのインストール手順に進んで下さい。

確認が終了したら右上の×で終了して下さい。

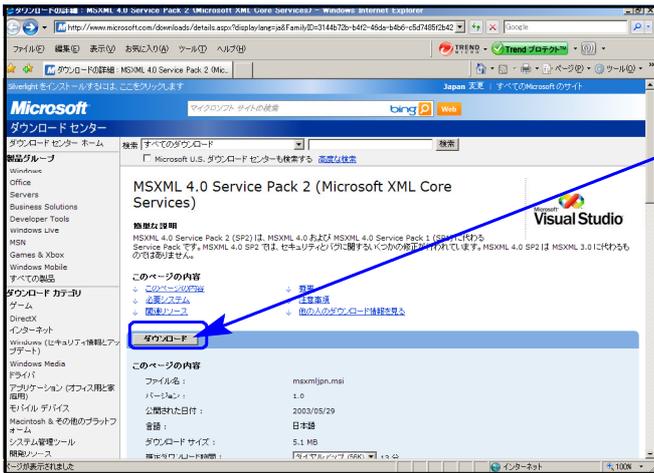
Windows XP インストール方法

「MSXML 4.0 Service Pack2」が表示されなかった場合は、以下の手順でインストールを行って下さい。

1) インターネットの画面を開いて、以下の①又は②の方法でインストール画面にアクセスして下さい。

- ① 弊社のサポートページ (<http://tatemura.bzq.jp/docs/414>) を開いて、Microsoft社のダウンロードページより実行。
- ② <http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?displaylang=ja&FamilyID=3144b72b-b4f2-46da-b4b6-c5d7485f2b42> のアドレスをインターネットブラウザのアドレス欄に直接入力。

2) ①又は②の方法でインストール画面にアクセスすると、左図の画面を表示します。



ダウンロード を左クリックします。

3) 下図のファイルのダウンロード画面を表示します。

実行 を押します。

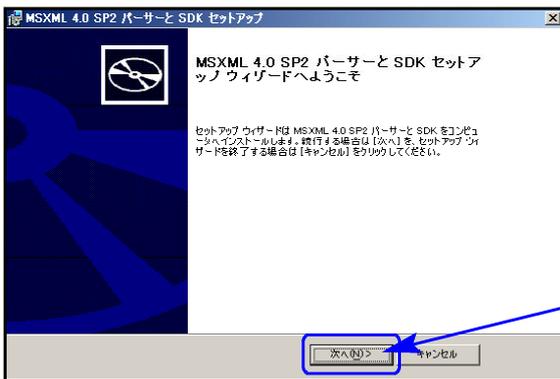


4) 左図の画面を表示します。

実行する(R) を左クリックします。



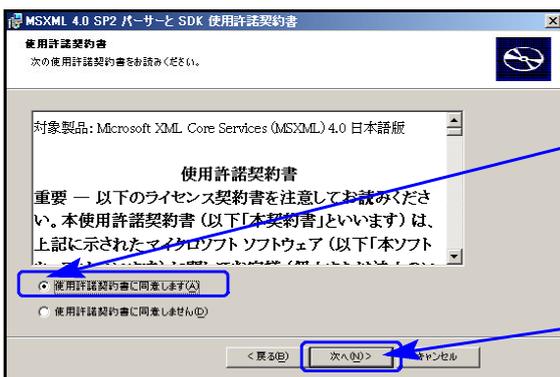
5) 「MSXML4.0SP2パーサーとSDKセットアップウィザードへようこそ」の画面を表示します。



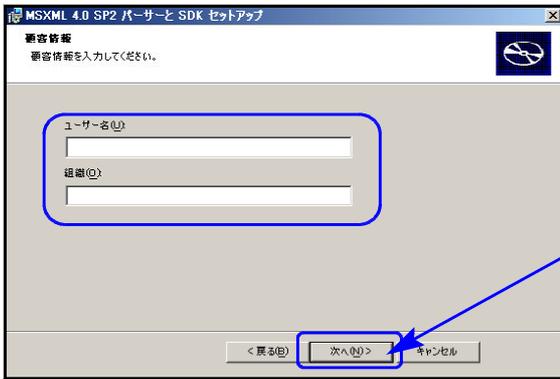
次へ(N) を左クリックします。

6) 使用許諾契約書の画面を表示します。

使用許諾契約書に同意します(A)の○を左クリックして●にします。



7) **次へ(N)** を左クリックします。



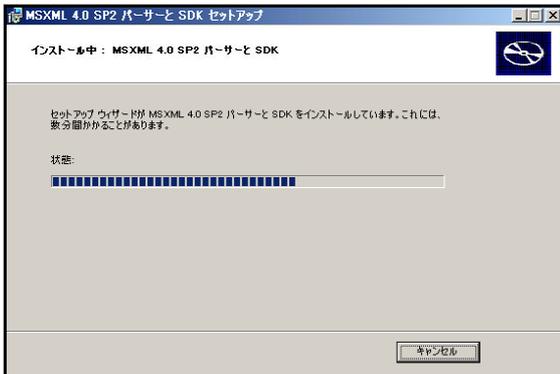
8) 顧客情報の画面を表示します。

ユーザー名と所属は空欄にして
次へ(N) を左クリックします。



9) セットアップの種類を選択の画面を表示します。

左図の今すぐインストール(I)
アイコンを左クリックします。



10) 左図の画面を表示します。

しばらくお待ち下さい。



11) セットアップ完了の画面を表示します。

完了(F) を左クリックします。



12) 左図の画面を表示します。

右上の X を左クリックして左図の
画面を閉じます。

※以上で、MSXML 4.0 SP2のインストールは
終了です。

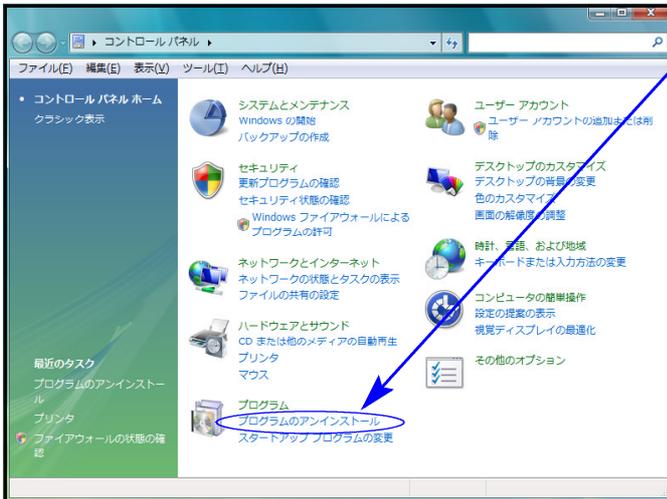
Windows Vista 確認方法



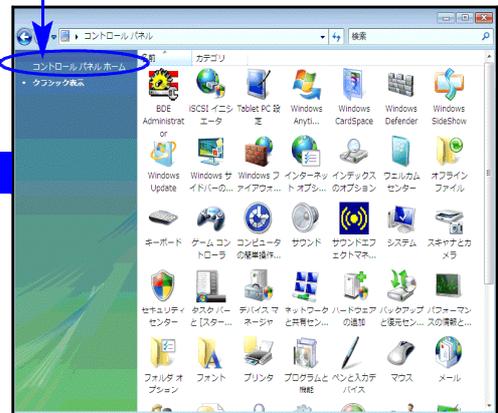
1) スタートをクリックします。

2) コントロールパネルに合わせて
クリックします。

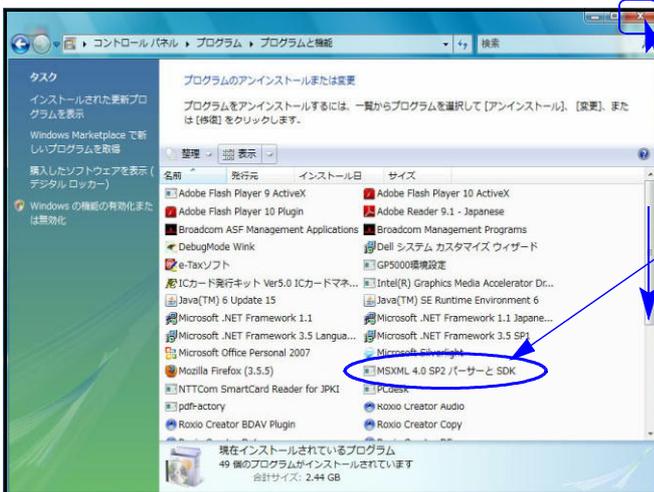
3) 左図の画面から「プログラムのアンインストール」をクリックします。



※以下の画面表示の場合は
「コントロールパネルホーム」をクリックすると、左図を表示します。



4) インストールされているプログラム一覧が表示されます。



スクロールバーを下へクリックして
「MSXML 4.0 SP2」が表示されている
場合は問題ありません。

もし、表示されていない場合は
次ページのインストール手順に
進んで下さい。

確認が終了したら右上の×で終了して
下さい。

Windows Vistaインストール方法

「MSXML 4.0 Service Pack2」が表示されなかった場合は、以下の手順でインストールを行って下さい。

1) インターネットの画面を開いて、以下の①か②の方法でインストール画面にアクセスして下さい。

- ① 弊社のサポートページ (<http://tatemura.bzq.jp/docs/414>) を開いて、Microsoft社のダウンロードページより実行。
- ② <http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?displaylang=ja&FamilyID=3144b72b-b4f2-46da-b4b6-c5d7485f2b42> のアドレスをインターネットブラウザのアドレス欄に直接入力。

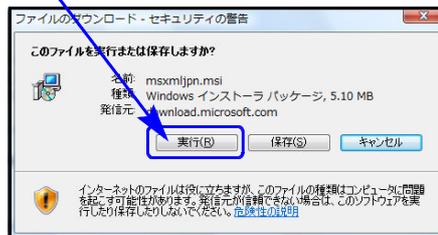


2) ①又は②の方法でインストール画面にアクセスすると、左図の画面を表示します。

ダウンロード を左クリックします。

3) ファイルのダウンロード画面を表示します。

実行 を押します。



4) 左図の画面を表示します。

実行する(R) を左クリックします。



5) 「MSXML4.0SP2パーサーとSDKセットアップウィザードへようこそ」の画面を表示します。

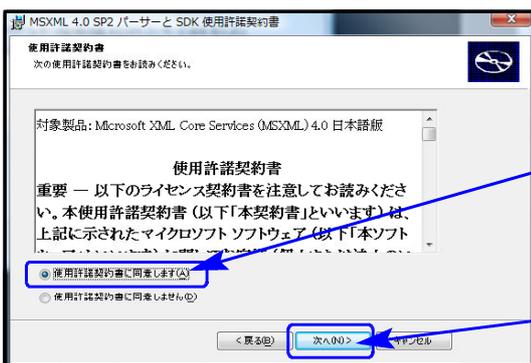
次へ(N) を左クリックします。

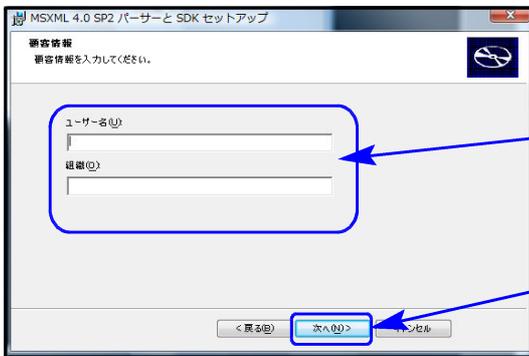


6) 使用許諾契約書の画面を表示します。

「使用許諾契約書に同意します(A)」の○を左クリックして●にします。

7) **次へ(N)** を左クリックします。





8) 顧客情報の画面を表示します。

ユーザー名と所属は空欄にして、**次へ(N)**を左クリックします。

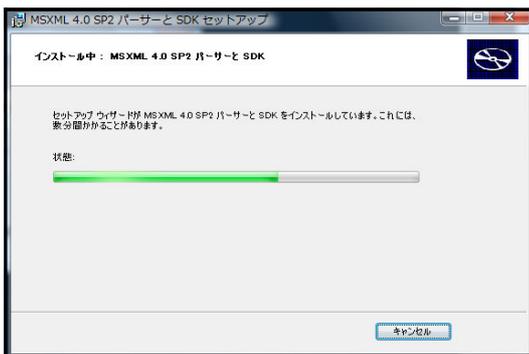
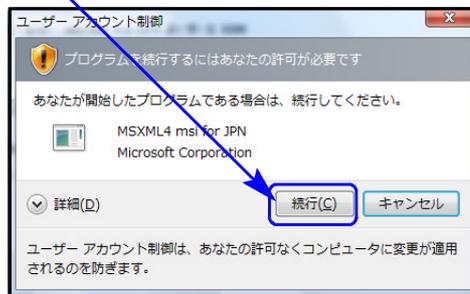


9) セットアップの種類を選択の画面を表示します。

 左図の今すぐインストール(I)アイコンを左クリックします。

10) ユーザーアカウント制御を表示します。

続行 を左クリックします。



11) 左図の画面を表示します。

しばらくお待ち下さい。



12) セットアップ完了の画面を表示します。

完了(F) を左クリックします。



13) 左図の画面を表示します。

右上の **X** を左クリックして左図の画面を閉じます。

※以上で、MSXML 4.0 SP2のインストールは終了です。

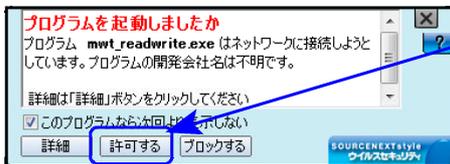
● プログラム起動時のセキュリティゼロのメッセージの対処方法

- ① マルチウィンドウ端末を更新後、マルチウィンドウ端末を立ち上げるとセキュリティゼロが以下のような確認画面(マルチウィンドウ端末の許可)を表示します。



左図の画面を表示した場合、必ず、「許可する」を選択して下さい。

- ② 端末へのバックアップや消費税申告書プログラムで入力画面を開こうとすると、セキュリティゼロが以下のような確認画面(mwt_readwrite.exeの許可)を表示します。



左図の画面を表示した場合にも必ず、「許可する」を選択して下さい。

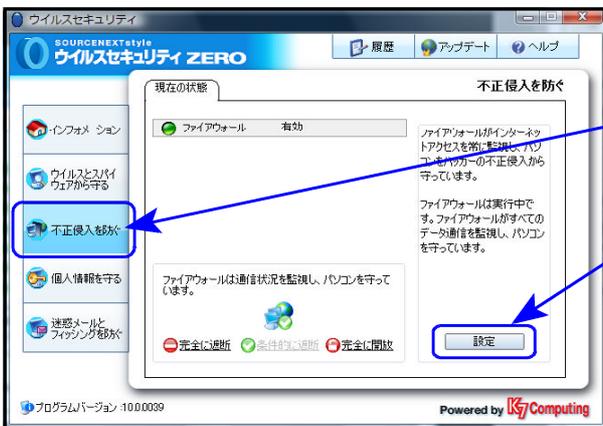
● 「ブロックする」を選択してしまった場合

※上記の画面で誤って「ブロックする」を選択してしまうと、マルチウィンドウ端末が開けなかったり端末へのバックアップ等が実行できません。

その場合、セキュリティゼロで以下の設定が必要になります。

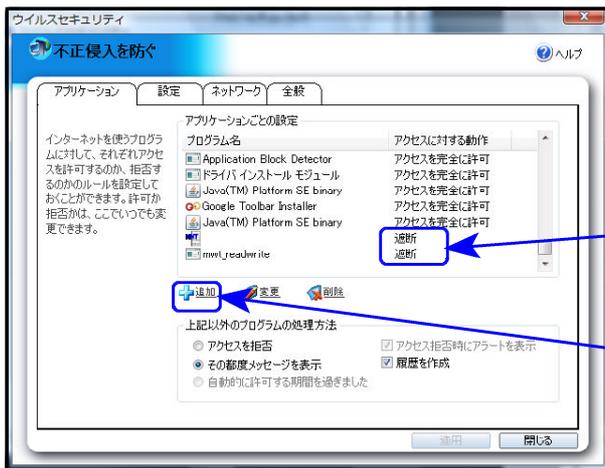


1. 画面右下のウィルスセキュリティのアイコンをダブルクリックします。

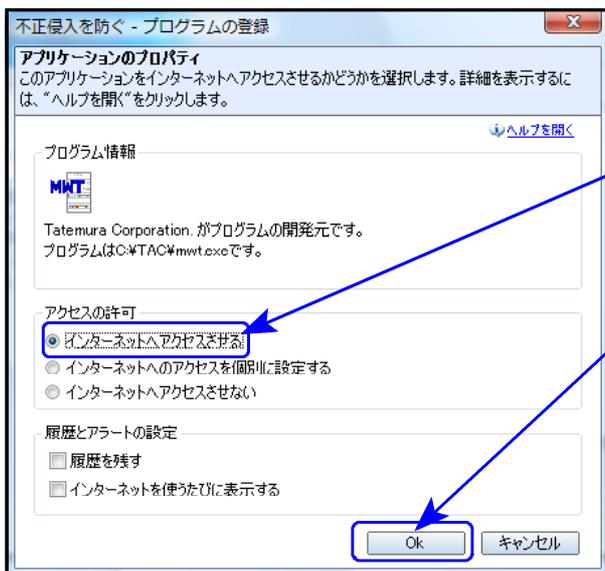


2. セキュリティゼロのメイン画面が起動します。「不正侵入を防ぐ」をクリックします。

3. 「設定」のボタンをクリックします。



4. 左図の画面を表示します。
5. マルチウインドウ端末のファイルや mwt_readwrite.exe のファイルのアクセスに対する動作を確認します。
6. アクセスに対する動作が「遮断」の場合、「アクセスを完全に許可」に変更する必要があります。
7. 該当の項目をマウスで選択し、+追加を選択します。



8. 左図の画面を表示します。
9. アクセスの許可を「インターネットへアクセスさせる」を選択します。
10. **OK** をクリックします。



11. 4. の画面に戻ります。
12. アクセスに対する動作が「アクセスを完全に許可」になっているか確認します。
13. **閉じる** をクリックします。
14. 2. の画面に戻ります。**×** を押してセキュリティゼロの画面を閉じます。

・他社ソフトで同様のメッセージを表示した場合、必ず「許可」をして下さい。

・詳しい操作方法につきましては、各セキュリティソフト会社にお問い合わせいただくようお願い致します。